

この本で学習するみなさんへ

「読むこと」と「理解すること」は同じではありません。文章を音読できても、内容を理解できているとは限らない。では、どうすれば文章を正しく理解できるのか。

『予習シリーズ5年⑤国語』は「文章を読んで正しく理解する力（読解力）」を身につけるための「教科書」です。「問題集」ではないので、問題を解いて、答え合わせをしておしまい、にしないように気をつけてください。正しく使って、あなたにとって一生の財産ともなる「読解力」の土台をしっかり築きましょう。

1 1週間の学習計画

各回が、1週間の学習範囲になっています。「むりなく、むらなく・むだなく」学習するためには、計画が大切です。自分にあった学習計画を立てましょう。

2 各回の構成と学習方法

今回の読解テーマ

毎回、文章読解に必要な力を一つずつ身につけていきます。今後、学習を進めていく中で、同じテーマ（学習課題）が

Q & A

「文章を正しく読解するには〇〇が大切だ」とは書いてあるが、そもそもどうしてそれは大切なのだろう……。ふだん、気になっていても、聞く機会がありません。このような「素朴な疑問」を中心に、さまざまな疑問について考えることで、国語の学習への関心を深めていきます。

●基本問題・発展問題・ことばの学習

問題を解くことで、各回の読解テーマ（学習課題）の確認を中心とした文章読解の学習を進めます。問題形式になっていますが、テストではありませんので、正答を出すことが目的ではありません。答えが合っても、なぜそれが正解なのかを説明できなければ、意味はありません。正答でも誤答でも、どのように考えてその答えを出したのか、特に誤答の場合はどこに間違いがあったのか、読解テーマ（学習課題）を理解し、活用できていたのか、ということをチェックすることで、読解力が養われます。誤答を恐れず、むしろ、誤答が多いほど、学ぶことも多くなると考えて取り組むことが、読解力向上につながります。

「ことばの学習」では、文章読解の基礎となる日本語のきまりや使い方を学びます。和語や慣用語、ことわざなどの知識は、副教材「漢字とことば」を使って覚えましょう。

何度も登場しますが、同じことのくり返してはなく、回を重ねるごとに理解を深めていくことが目標です。

各回で学習するテーマ（学習課題）を大まかにとらえてから、「基本問題」「発展問題」に取り組みましょう。

知る

各回で取り組む読解テーマ（学習課題）を確認します。最小限の説明にとどめてありますので、すべてをしつかりと頭に入れましょう。

考える

短い文章を読み、問いを解きながら、「知る」で確認した読解テーマ（学習課題）の理解を深めます。

解く

文章を読み、設問を解きながら、読解テーマ（学習課題）について理解を深めます。「解答作業」に示された流れに従って読解作業を進めていくことで、設問から解答への正しい道筋をたどれるようになっていきます。既に学習したことのある読解テーマ（学習課題）についての復習ですので、理解が不足している場合は、『予習シリーズ』の4年生④①を確認しましょう。

今回のまとめ

読解テーマ（学習課題）についてのポイントを再確認します。

●解答と解説

問題を解き終えて、いきなり「解説」を読むと理解できたような気になってしまいます。読む前に自分が答えを出した過程（設問をどのように理解し、文章をどのように読んで、答えに至ったのか）を確認しておくことが必要です。

3 総合回

5回に1回程度、復習のための『総合回』があります。前に学習したことを忘れてしまっている場合は、その回にもどって読み直しましょう。

4 副教材の活用

●漢字とことば

漢字とことば（語彙）に関する学習をまとめた必修教材です。定着するまで何度でもくり返して学習しましょう。

●演習問題集

予習シリーズの読解テーマ（学習課題）に対応した、文章読解の問題集です。

●最難関問題集

最難関校の受験を見据えた、記述問題中心の問題集です。

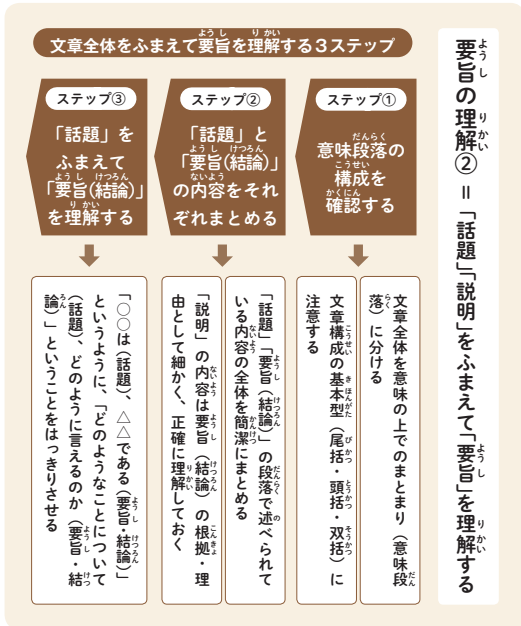
第14回

説明文・論説文(6)

今回の読解テーマ

要旨②

知る



問

次の文章を読んで、筆者が全体を通じて述べようとしていることをまとめなさい。

解く

貧困家庭や一人きりの食事など、「家庭の食事」に問題を抱えた子どもたちのために、地域の大人が無料もしくは安価で食事を提供する場として、「子ども食堂」を開く取り組みが全国に広がっている。最近では子どもに限らず、親や地域の大人などにも安価で食事を提供するところも増えている。

こうした取り組みは、近所の子どもが空腹に苦しんでいることに気づいた大人が善意で始めたものであり、費用は運営者が自ら負担することになる。しかし、取り組みが広く知られるようになると、自治体から補助金が支給されるようになったり、農家や飲食店、スーパーなどから余った食材が寄付されたりするなど、支援の手が差しのべられるようになった。2019年3月には大手コンビニチェーンが関東地方の店舗で「子ども食堂」を始め、2021年8月には大手牛丼チェーンが宮城県の子どもの食堂に牛丼を無償で提供して、それぞれ話題となった。

むしろ、食品を扱うがゆえの問題も多い。食中毒が発生した事例

もあり、きちんとした衛生管理が求められるのは当然だが、厚生労働省から注意点をまとめた書面は出されているものの、基本的には自分たちで考えて対処しなければならぬ。また、保健所や自治体への届け出も地域によって様々だ。一般の飲食店ではないから営業許可は不要だが、「食品衛生責任者」の資格を求められることが多い。

主な対象が子どもであることもハードルを上げている。持病やアレルギーの説明ができないうちの子どもの場合、保護者から事前に聞き取りをするなど、細かい対応が必要となる。他にも、場所の確保やボランティア・スタッフの募集、地域住民に理解してもらうための説明会など、いざ「子ども食堂」を開こうと思うと、やるべきことは山積みだ。

「子ども食堂」の取り組みの根本は、人々の「子どもたちがかわいそう」という思いである。開設までいくつも困難が待ち構えていては、その意欲を砕くことにならないとも限らない。手を挙げた人がその思いを子どもたちに届けられるよう、金銭面だけでなく、開設の準備から運営まで、一貫してサポートする態勢を作ることが国や自治体に求められる。もちろん、「子ども食堂」に救われる子どもが一人もいなくなるのが理想であるのはいさぐさではない。

解答作業①

問われていることを確認する

文章の要旨(結論)は何か?

↓

ステップ①
ステップ②
をふまえて、
ステップ③
について考える

II

文章の中心となる「説明」の内容をふまえて、「話題」と「結論」の呼称を確認する

↓

本文へ

解答作業②

本文から解答に必要な要素を集める

ステップ③	ステップ②	ステップ①
要旨(結論)	説明	話題
厚いサポート態勢を築くことが求められる。	子どもたちを助きたいという人々の思いが実を結ぶよう、国や自治体には、金銭面以外にも、いっそうの手	「家庭の食事」に問題を抱えた子どもたちのために「子ども食堂」を開く取り組みが全国に広がっている。いろいろなところからさまざまな支援が寄せられるようになったが、「子ども食堂」の運営にはまだまだ課題や問題が山積みである。

答え

Q

国語の授業なのに「社会」に関心を持ちなさい」と言われました……。



A

社会科だけではなく、国語の勉強のためにも「社会」に関心を持つておく必要があります。ただ、国語では「知っていること(知識)」よりも「考える」ことが求められます。世の中で起っている出来事について書かれた文章を読み、自分のこととしてとらえ、考える力を養う必要があります。

*次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

かつて①自動炊飯器が日本の家庭に普及していった時代、日本の主婦の睡眠時間が一時増えた。一時間余計に眠れることは、誰にとっても幸せだ。当時、炊飯器は大卒・初任給の三割から四割相当の値段だった。*可処分所得との比率で考えると、いまの価格で八万円から一〇万円といった感覚だろうか。それでもポーンが出れば、皆が炊飯器を買いたい。*「これは便利だ」と感嘆し、「よし、お父さんは、もっと頑張らなくていいから次のポーンで冷蔵庫買おうな」となっていて、日本の家庭から食中毒が一掃されていく。次は洗濯機だということになって、日本のお母さんの手からあかぎれが消えていく。

*いまの中国がまさに②そうであるように、巨大な物欲が消費を促し、企業はそこから利潤を上げ、その利潤が労働者にも還元されて、さらなる消費に結びつく。これが成長社会の典型的なパターンだ。モノが人を幸せにした時代である。

しかし、と私は学生たちに問いかける。

③「君たちはテレビが五センチ薄くなって幸せか？」

家電量販店の店頭に並ぶ様々な新製品は、格好良かったり、便利であったりはするけれど、万人が幸福になるようなものではない。もはや私たちは、モノだけでは幸せにならない時代に生きている。格好良さは人それぞれに違うから、④大ヒット商品は生まれにくい。このところ相次いで発表される家電各社の巨額の赤字の背景はここにある。

⑤人びとはバラバラなまま生きていく。価値観は多様化する。ラ

イフスタイルはさまざまになる。それは悪いことではないだろう。日本人はこれからどんどんと、バラバラになっていく。しかし、人間は社会的な生き物なので、バラバラだけでは生きていけない。私たちはどうしても、社会生活を営んでいくうえで、地域社会で決めていかなくてはならないことがある。

いままでは、少なくとも一九八〇年代までは、遠くで(霞が関で)、誰かが(官僚が)決めてくれていたことに、何となく従っていた。いろいろな小さな不都合はあったとしても、だいたい、みんなが幸せになれる社会だった。しかし、いまは、自分たちで自分たちの地域のことに判断をし、責任を持たなければならぬ。その判断を誤ると、夕張市のように自治体でさえも潰れる時代が来てしまったのだ。ただ、⑥この一点が変わったために、日本人に要求されているコミュニケーション能力の質が、いま、大きく変わりつつあるのだと思う。いままでは、遠くで誰かが決めていることを何となく理解する能力、空気を読むといった能力、あるいは集団論でいえば「心を一つに」「一致団結」といった「価値観を一つにする方向のコミュニケーション能力」が求められてきた。

① もう日本人はバラバラなのだ。

② 日本のこの狭い国土に住むのは、決して日本文化を前提とした人びとだけではない。

③ この新しい時代には、「バラバラな人間が、価値観はバラバラなまま、どうにかしてうまくやっていく能力」が求められている。

私はこれを、「協調性から社交性へ」と呼んできた。

④ 平田君は、自分の好きなことは一生懸命集中して頑張るけれども、どうも協調性に欠けるようです」と小学校一年生から通信簿に書か

い人びとをあらかじめ排除するシマ国・ムラ社会の論理が働いてはいないだろうか。実際に、私たちは、パレスチナの子どもの気持ちにはわからない。アフガニスタンの人びとの気持ちもわからない。しかし、わからないから放っておいていいというわけではないだろう。価値観や文化的な背景の違う人びとも、どうにかして共有できる部分を見つけて、最悪の事態である戦争やテロを回避するのが外交であり国際関係だ。

好むと好まざるとにかかわらず、国際化する社会を生きていかなければならない日本の子どもたちに、より必要な能力はどちらだろう。もちろん協調性がなくいいとは言わないが、日本の子どもたちは世界標準から見れば、まだまだ集団性は強い方だ。ならばプラスαの能力として、これからの教育が子どもたちに授けていかなければならないのは、この「社交性」の方ではないか。(平田オリザ「わかりあえないことから」コミュニケーション能力とは何か)〈講談社〉より)

*今の中国…本書が出版された2012年時点の中国を指します。
*初任給…就職してはじめてもらう給料。
*可処分所得…収入から税金などを引いた、使い道の自由な部分。

問一 ①～③にあてはまる言葉として最も適切なものを次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア だから イ では ウ しかし エ さらに

問二 ①～③「自動炊飯器が時代」とは、どのような時代ですか。文章中から十五字以内でぬき出して答えなさい。

れてきたような人間が、作家や芸術家になる。私自身、自分の好きなことしかやってこなかったし、協調性はないものと自覚している。しかし、演劇は集団で行う芸術なので、演劇人には「社交性」はあるのだ。私たちは、幕が下りるまではどんな嫌な奴どもでも、どうにかして仲良くする。プロの世界などはひどいもので、舞台上では、「あなたを向いている連中もたくさんいる。⑦それでいい舞台ができるのなら、私としてはまったくかまわない。これもまた「社交性」だ。しかしこの社交性という概念は、これまでの日本社会では「上辺だけのつきあい」「表面上の交際」といったマイナスのイメージがつきまとった。私たちは、「心からわかりあう関係を作りなさい」「心からわかりあえなければコミュニケーションではない」と教えるてられてきた。

しかしもう日本人は心からわかりあえないのだ…と言ってしまうと身もふたもないので、たとえば高校生たちには、私は次のように伝えることにしている。

「心からわかりあえないんだよ、すぐには」

「心からわかりあえないんだよ、初めからは」

この点が、いま日本人が直面しているコミュニケーション観の大きな転換の本質だろうと私は考えている。

心からわかりあえることを前提とし、最終目標としてコミュニケーションというものを考えるのか、「いやいや人間はわかりあえない。でもわかりあえない人間同士が、どうにかして共有できる部分を見つけて、それを広げていくことならできるかもしれない」と考えるのか。「心からわかりあえなければコミュニケーションではない」という言葉は、耳に心地よいけれど、そこには、心からわかりあう可能性のな

問三 —— 線②「そうである」が指している部分を文章中から五十程度でさがし、はじめと終わりの三字をぬき出して答えなさい。

問四 —— 線③「君たちはテレビが五センチ薄くなって幸せか？」とありますが、筆者が学生たちに問いかけたこの話を引用することで、どのようなことを読者に伝えようとしていますか。次から適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア 新しいモノを導入することで万人が幸福になっていた時代は終わったということ。
イ 最近販売されている新製品はむしろ幸福を奪うものになっているということ。
ウ 独自の視点を持ってモノを作らないと大ヒット商品が生まれることはないということ。
エ 巨大な物欲が消費を促す成長社会は、人々の軋轢を生み、バラバラにしてしまったということ。

問五 —— 線④「大ヒット商品は生まれにくい」理由を次のように説明しました。A・Bにあてはまる言葉を、文章中からそれぞれ三字でぬき出して答えなさい。
A []が []しているから。

問六 —— 線⑤「人びとはバラバラなままで生きていく」とありますが、これに対して筆者はどのような思いをしますか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。
ア そうなることは悪いことなので、そのまま受け入れることには慎重でありたい。
イ そうなることはあまり好ましくはないが、そのまま受け入れる

発展問題

◆ 次の文章をよんで、後の問いに答えなさい。

いよいよけんかになりそうな場合、参考になる話があります。以前、フランスの大学で先生をしておられる日本人の先生から聞いた話です。そのお嬢さんが部屋を散らかしていたのだそうです。そこで、「部屋を片づけなさい」と言っていたのですが、なかなか片づける様子がない。そこで、ある時、「どうして部屋が片づけられないのか」とかんかんになって怒ったそうです。親子げんかのよくある光景です。「はい」と素直に聞く子供もあるかもしれませんが、誰も自分の都合というものはあるもの。「いちいちうるさいことを言わないで！」のように言い返すこともあるでしょう。無視してしまったり、「ふい」と怒って離れてしまったり、という反応もあるでしょう。

しかし、そのお嬢さんは違いました。
[]
と言ったそうです。そして、自分は今これこういう状況である。そのため、今は片づけられない、と理路整然と話したそうです。

そのお母さんは、怒っていた気持ちがはつと引き戻されたといいますが、これがお嬢さんというのはフランスの学校に通っていたということですが、これがフランス風の言葉の教育なのか、と思っただけです。もちろん、部屋を片づけないのはよくないことです。が、仮に怒られたとしても、感情的に反応するのではなく、あくまで自分は冷静にいるようにし、そして、相手にも冷静になるように主張するわけです。この、「冷静になること」自体はよほどの場合でない限り、基本的に

しかない。
ウ そうなることは悪いことではないが、そのまま受け入れればいいということではない。
エ そうなることはとても好ましいことで、そのまま受け入れるべきだ。

問七 —— 線⑥「この一点が変わった」とありますが、どう変わったのですか。変わる前と変わった後の違いがわかるように、「私たちの地域のことに」について、「」に続く形で、文章中の言葉を使って六十文字以内で答えなさい。

問八 —— 線⑦「それ」の内容を三十五文字以内で説明しなさい。

問九 この文章において、筆者の言いたいことはどういうことですか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 人はすぐにはわかりあえないかもしれないが、よそ者を排除するシマ国・ムラ社会の論理を捨てて広い心で接すれば、いつかはわかりあえるようになる。
イ 周りと心をつなぐには、外国の人たちと共に生きていくための社交性を身につければ、私たちは誰とでもわかりあえるようになる。

ウ 学校で協調性のない子とされる子は芸術面で才能を発揮することが多く、そうした子は別の意味でコミュニケーション能力に秀でているとも言える。
エ 人と人は心からわかりあえないということを前提として、どうにか共有できる部分を見つけて広げていくというコミュニケーション能力が現代では求められる。

はどの場合においてもいいことです。このお嬢さんの口答えは、この状況では、なかなかたいたいしたものではないでしょうか。
いよいよ感情的に爆発しそうな時、相手に対しても、自分に対しても、I「こと」を考えてみるといいと思います。

また、この話は、私たちが話をする際、話し方や話の言葉そのものに気をつけることの重要性に気づかせてくれます。私たちは、ともすれば話の内容に意識をむけてしまっただけで、どのような話しかたをしているかについてはあまり意識しないことが多い気がしています。しかし、時には話のしかたそのものを取り上げてみることも必要かもしれません。相手が大声で威圧するような場合は、「もつと冷静に話してください」というように拒否することもあっていいのです。

II「ため」の言葉もあります。
以前、自動車の接触事故が起きて、大人どうして意見が対立して、声が大きく怒りを帯びてきた時に、

まあ、まあ、お互い感情的にならずに話をしましょう。
と言って、その場を落ち着かせた場面を見たことがあります。対立関係において、火に油を注ぐようなことを言うよりも、事態を落ち着かせる方向で話をするほうが、結果的には後悔しないことが多いもの。この燃えさかる怒りの感情を消火する言葉が「まあ、まあ」です。

まあ、まあ、まあ、……。
というのは、問題があってもそれにこだわらない、という意味を表します。
まあ、そうかな。
というように、判断をする場合にも使われますが、「ほかにもいろいろ問題があるだろうが、問題をとりあえずは無視して」という意味で

す。従って、この言葉は、まずは問題をスキップして次に行きましよう、という、相手をなだめる言葉になるわけです。

もつとも、使い方に注意が必要なものもあります。⑤「煮えたぎった油に水を注ぐとかえて水がはねて爆発するように、相手が火のように怒っている場合に、当事者が「まあ、まあ」などと言わないほうがいいことでもあります。激しい怒りに直面した場合、*いたずらに消火の言葉を使ったりしないで、しばらく「まずは話を聞く」というようにして、相手の怒りのエネルギーが放出されるのを待つことも選択肢の一つです。また、あまりにも危険な状況であったり、怒りが収まりそうにならない場合は、その場から脱出するということも選択肢の一つです。このあたりの対応は慎重にしてください。

最後に、もう一つ。争いになった場合、Ⅲのようにすることが必要です。これには④の注意が必要でしょう。

まず、相手が怒ってきた時に、必ずしも自分が全面的に罪悪感を感じたりする必要はありません。相手が怒りをぶつけてきたとき、誰しも少しは驚いてしまうもの。ついつい、自分を責めたりしがちです。

しかし、⑤「相手が怒ることの全責任が自分にあるように思う必要はないのです。もちろん、反省してみることはいいことですが、相手の感情は究極的には相手の問題です。相手が怒ったら、「ああ、この人は感情的になっているな」と思うような冷静な気持ちも持っているといいかもしれません。逆に、相手を怒らせないように、と自分が極端な自己規制をかけてしまうことで、結果的に相手に不本意なコントロールを受けてしまうこともあるので、こうした思い切りは大切です。

もう一つ、自分も感情的になっている場合に当てはまるのですが、いつまでも感情の問題に目を奪われないようにしましょう。過去は変

きそうな状況。

イ 大きな声を出す相手におびえてしまい、つい弱気になってしまいういような状況。

ウ 一方的に言いたいことをぶつけてくる母親を嫌いになってしまいういような状況。

エ 感情的になっていて相手を前にして自分も頭に血が上ってしまいういような状況。

問四 ——— 線②「この話」とありますが、

1 「この話」の具体的な内容が書かれている部分を文章の中から探し、はじめと終わりの八字をぬき出して答えなさい。

2 「この話」を例に挙げながら筆者はどのようなことに注意しなければならぬと述べていますか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 怒りにまかせて話せば、相手は反発したり心を閉ざしたりしてしまふこと。

イ 時には頭ごなしにどなりつけることで、相手を黙らせることも必要だということ。

ウ 怒る気持ちをためないように気をつけられれば、感情の爆発は避けられること。

エ いつも怒ってばかりいると、相手は自分の話をまったく聞かなくなる。

問五 ——— 線③「煮えたぎった爆発するように」とはどういうことをたとえていますか。六十文字以内で答えなさい。

問六 ——— 線④「二つの注意」とはどのようなことですか。文章中の言葉を使って五十文字以内で答えなさい。

えることはできないもの。お互いに何を求めているのか、ということにも注意をし、未来について考えるのです。何が感情的なしこりのもとになっているのか、それを取り除くにはどうすればいいのかを、お互いに明らかにしていく努力が必要です。お互いの要求は何なのかを明らかにすることもいいことではないでしょうか。争いに限ったことではありませんが、自分がどうしてほしいのか、という具体的な要求を明確に出すと、感情的な「こじれ」から抜け出すことができず、いわば、感情的な「争い」を「交渉」に変えることができず、いっかもしれません。⑥「いたずらに…無駄に」(森山卓郎「コミュニケーションの日本語」より)

問一 文章中のⅠⅢにあてはまる言葉として適切なものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア 後悔しない
- イ まずは反省する
- ウ 冷静でいる
- エ 自分を見失わない
- オ 怒りの感情を消す

問二 文章中に二カ所あるⅡのどちらにもあてはまる言葉として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア お母さんは私がフランスの学校で学んでいることを忘れたの？
- イ お母さんはどうして私の部屋を片づけてくれないの？
- ウ お母さんはどうして私に部屋を片づかせたいの？
- エ お母さんはなぜもつと冷静に話ができないの？

問三 ——— 線①「この状況」とはどのような状況ですか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 気持ちを落ちつけたことで、互いの意見に耳を傾けることがで

問七 ——— 線⑤「相手が怒ることの全責任が自分にあるように思う必要はない」のはなぜですか。適切なものを次から二つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア 相手を怒らせないよう自分の気持ちを抑えることで、相手の言いなりになってしまう可能性があるから。
- イ 相手の怒りの原因が自分にあると素直に認めてしまうと、自分の気持ちをコントロールできなくなるから。
- ウ 相手が怒っているのは単に性格の問題であり、自分が悪いと反省するべき理由などどこにもないから。
- エ 相手が怒っているのはあくまで相手の心の問題であって、自分の気持ちや考えとは何ら関係ないから。
- オ 相手を怒らせたら、まずは何がいけなかったのか、自分の言動を冷静に振り返らなければならないから。

問八 ——— 線⑥「感情的な『争い』を『交渉』に変える」ためには

どうすることが必要ですか。次の文のⅡにあてはまる言葉を指定された字数で文章中からぬき出して答えなさい。

①「7字」の原因を取り除き、互いに②「6字」を出し合うこと。

問九 この文章はどのようなことについて述べられていますか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 意見がぶつかった相手にどうすれば勝つことができるのか。
- イ 自分と異なる意見に耳を傾けなければならないのはなぜか。
- ウ 自分の考えが通用しないとなぜ感情的になってしまうのか。
- エ 意見や感情の対立を乗り越えるためにはどうすればいいか。

文と文の関係② 接続関係②

文章を正確に読むためには、一文・文節と文節の関係 を正確に理解することが必要であること を第11回・第12回で学習しました。前回第13回から第17回までは、一文の正確な評価を前提に、文と文の接続関係を 正確に理解するための学習を進めます。

七つの接続関係

(詳細はシリーズ4年下第11回〜第18回参照)

- (1) **順接**
 - || 前のことがらが原因・理由となり、その当然の結果・結論が後にくる。
 - 例 だから・すると・そこで・〜から など
- (2) **逆接**
 - || 前のことがらと逆になるようなことがらや、しかし・だが・ところが・〜のに など
 - 例 ちがうことがらが後にくる。
- (3) **並立(並列)**
 - || 前のことがらと後のことがらが対等な関係で並べられている。
 - 例 また・ならびに・〜や・〜たり など
- (4) **添加(累加)**
 - || 前のことがらに後のことがらを付け加える。
 - 例 そして・さらに・しかも・〜さえ など

- 7 おや、お久しぶり。 [] 例の件はどうになりました。
 - 8 書類には、ボールペン、 [] 万年筆で記入してください。
 - 9 好調が続いていた。 [] 格下の相手に呆気なく負けた。
 - 10 学校を休んだ。 [] 昨晩からの熱が下がらなかったから。
- A群**
- ア ただし イ だから ウ ところで エ ところが
 オ たとえば カ なぜなら キ しかも ク また
 ケ あるいは コ すなわち
- B群**
- ツ 順接 (例示) シ 逆接 ス 並立 セ 添加
 ソ 説明 (例示) タ 説明 (理由) チ 説明 (換言)
 ツ 説明 (補足) テ 選択 ト 転換

問一 次の1・2の①と②、②と③の接続関係を説明するのに最も適切な言葉を後の語群から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- 1 ①日本は水資源の豊かな国である。②世界平均の約2倍に相当する降水量があるからだ。③梅雨と台風の時季に集中するために降水量の変動が激しいという問題もある。
 - 2 ①戦後復興期の木材需要に応えるために、「拡大造林」政策が強力に押し進められた。②一九六〇年代以降、安い外国産の木材が大量に輸入されるようになると、一九八〇年頃をピークに国産材の価格は下落し続けた。③その結果、日本の林業経営の衰退が始まり、やがて森林の荒廃が進んだ。
- A** 順接 (例示) **イ** 逆接 **ウ** 並立 **エ** 添加
オ 説明 (例示) **カ** 説明 (理由) **キ** 説明 (換言)
ク 説明 (補足) **ケ** 選択 **コ** 転換

(5) **説明** || 例や理由を挙げたり、比喩を使ったり、言い換えてりして、詳しく説明する。

- ①例 示 || 具体例を示す。 例 たとえば など
 - ②理 由 || 理由を述べる。 例 なぜなら など
 - ③換 言 || 言い換える。 例 つまり・すなわち など
 - ④補 足 || 補い、条件などを加える。 例 ただし
 - (6) **選択** || 前のことがらと後のことがらを対比したり、どちらかを選ぶことを示したりする。
 例 あるいは・または・それとも など
 - (7) **転換** || 話の内容を変えたり、限定したりする。
 例 ところで・それでは・さて・では など
- 七つの接続関係とそれを説明するための用語をしっかりと覚え、一文・一文の接続関係を意識して文章を読む習慣を身につけましょう。以下の問題を通して、文と文の接続関係を考える学習を進めます。

問一 次の各文の [] にあてはまる接続語をA群から、その接続関係を説明する言葉をB群からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- 1 利根川は流域面積が広い。 [] 信濃川は日本一長い川だ。
- 2 果物、 []、ミカンやリンゴからビタミンを摂取する。
- 3 コペルニクスの地動説、 []、世界の見方の大転換だ。
- 4 三日続いた熱が下がった。 []、早速登校の準備を始めた。
- 5 入場料は五〇〇円です。 []、未就学児童は無料です。
- 6 あの投手は直球が速い。 []、多彩な変化球を投げるそうだ。

問二 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。なお、①〜④の文の並び方はたたくありません。

たしかに言葉というものは、どんな言語であれ、あいまいな性格を持っている。

① 長年の異国への旅の経験によって、異国の人たちとのつきあいを通じて、私はしだいにそう思うようになった。

② 「日本では」と、彼はこういつているのだ。「あいまいな言葉がいちばん優れた言葉で、もつとも重んじられている」

③ しかし、日本人は言葉のあいまいさをあまり意識せず、いや、むしろそのあいまいさを好み、それを巧みに利用して争いを避けようとしてきたのではあるまいか。

④ そして、その思いは十六世紀の半ば、すなわち織田信長、豊臣秀吉のころに長崎に住んだホルトガルの宣教師ルイス・フロイスの指摘によって、いっそう深められた。そこで私はあらためて、もういちど「あいまいな言葉」を考え直してみようと思った。

(森本哲郎「日本語 表と裏」より)

- 1 ①文中の「そう」の内容がわかる文の番号を答えなさい。
- 2 ②文中の「彼」の名前を文章中から書き抜いて答えなさい。
- 3 ①〜④の文を文意が通るように正しく並べかえ、番号で答えなさい。